

# 稲作だより

第 10 号  
病虫害  
防除編

令和3年7月26日発行  
山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト  
最上地域本部  
最上総合支庁農業技術普及課  
Tel 29-1329 (稲作担当)

## 斑点米カメムシ類が多く確認されます！ いもち病にも引き続き警戒を！

7月20日現在、出穂期は平年並みからやや早い見込みです。  
斑点米カメムシ類が各地で容易に確認される状況です。地域全体で草刈りを徹底し、カメムシ類の密度を低減しましょう。

### 1. 病虫害対策

#### ◎斑点米カメムシ類（発生量が多く、注意報発表中！）

出穂が近づいてからの草刈りは、斑点米カメムシ類を水田内に追い込み被害拡大に繋がります。7月の一斉草刈り後は 8月末までは原則行わないようにしましょう。 やむを得ず草刈りを行う場合は、薬剤散布の直前に実施します。

出穂後、2回の基本防除（①穂揃期 ②穂揃期の7～10日後）を確実に行いましょう！ 状況によっては補完防除（基本防除2回目の7～10日後）も必要となります。



多いところでは1地点で100頭以上がすくいとられています！

#### ◎いもち病（感染が広がっており、危険度大！）

下位葉を中心に、各地で葉いもちの発生が確認されています。昨年と同様にどの地域・どの圃場で発生してもおかしくない状況です。薬剤防除は、①穂ばらみ後期、②穂揃期の2回が基本ですが、病斑を発見したら直ちに治療効果の高い薬剤で防除しましょう。



7月12日 真室川町

## ◎稲こうじ病

**発病後の治療薬剤はありません！予防を徹底しましょう！**

発病した場合は治療薬剤がないため、特に毎年発生する圃場では予防対策を徹底しましょう。また、薬剤防除の際には使用上の注意を確認し、適切に防除することが重要です。



## ◎紋枯病

**前年の発生が多かった圃場は要注意！**

主に畦畔周辺の地際から発生し、茎数が多い圃場や高温時に発生が多くなります。前年に発生が多かった圃場では、特に注意が必要です。



## 2. 出穂予想(7月20日現在) **早生を中心に**出穂がやや早い！

| 地域 品種        | 移植日  | 出穂予想        |
|--------------|------|-------------|
| 新庄市泉田 はえぬき   | 5/26 | 8/9 (平年+2)  |
| 新庄市泉田 雪若丸    | 5/25 | 8/8 (平年+2)  |
| 舟形町富田 つや姫    | 5/15 | 8/8 (平年-2)  |
| 最上町向町 あきたこまち | 5/24 | 7/28 (平年-4) |

5/20頃移植の中生品種は8/5、8/6頃の出穂予想と、平年並みからやや早い予想です。

**早生は出穂間近！**

※普及課生育診断圃場等の幼穂発育状況から予測

## 3. 出穂期前後の水管理

出穂までは間断かん水を行い土壌を酸化的に保ち、根の活力を維持するのが基本ですが、**猛暑が予想される場合は、可能な範囲で地温を下げるような水管理**としましょう。現在は10日間以上少雨が続き、**圃場がカラカラに乾く前に必ず入水**しましょう。

また、**出穂・開花期は、稲にとって最も水が必要な時期**です。2~5cmの水深を保ち、水を切らさないように管理しましょう。



すぐに入水を！

**農薬危害防止運動実施中！(6/1~8/31) 農薬の適正使用！**

**STOP！農作業事故！ 農作業中の熱中症に注意！**

農薬の使用に当たっては、**近隣のみつばち飼育の有無を確認し、みつばちへの被害を防ごう**